

令和7年度

横浜市市民協働推進センター事業報告



センター長 韓 昌燾

事業構成

住みたい・住み続けたい横浜

新たな課題解決策を生み出し、社会課題や地域課題に取り組む民間主体のすそ野を広げる

市民活動活性化

総合相談

- ・ 協働提案
- ・ 市民活動

情報蓄積・発信

- ・ 好事例ヒアリング記事
- ・ 好事例訪問レポート
- ・ 企画開催レポート
- ・ メルマガ・SNS等

課題解決

区活センター連携・支援

- ・ 各区市民活動支援センターへのヒアリング
- ・ 日常相談
- ・ 企画ノウハウ提供

市民活動支援セミナー

協働誘発

課題解決プログラム

- ・ 課題解決モデルプロジェクト
- ・ 協働メンバーズ

協働コーディネーター強化

協働スペースを有効活用

企画開催

- ・ セミナー・WS
- ・ 交流促進
- ・ ネットワーキング
- ・ 人材育成
- ・ 協働共創の視点

施設運営管理

- ・ スペースA B運営
- ・ 協働ラボ
- ・ 協働イベント
- ・ その他

令和7年度のテーマ

課題解決・協働誘発 令和7年度テーマ

「皆がつくる安全・安心なまちづくり」

- 上記テーマに沿った地域の多様な主体の交流促進プロジェクトにより、「地域を豊かにする取り組みのプロセスを学び、自分の地域に持ち帰り活気を生み出す人」を育成します。
- セミナーや交流イベント等も、上記テーマに沿って実施します。
- 既存の活動団体、ステークホルダーとのネットワーキングを強化します。

令和7年度の取組報告

1 市民活動活性化

総合相談

941件（2026年1月末時点）目標：1,000件/年

主な相談内容：活動・事業の内容（311件）、他団体との連携（80件）ほか他局との連携も含めた相談対応

市民団体の活動支援の際には、団体の持つスキルや資源を整理し、団体の得意を発掘しながら、社会課題の解決に資する企画の立案・実施支援に繋ぐ相談対応を行っている。（次ページ事例参照）
また、団体運営の基礎となる会計等についての相談も多いため、会計セミナーも引き続き企画実施した。

令和7年度 よこはまNPO会計セミナー

2025年12月3日（水）15：00～17：00

【講師】吉澤寿朗氏（税理士、NPO法人税理士による
公益活動サポートセンター 理事）

参加者数：25人

参加者アンケート「会計についての理解が深まった」：100%



▲相談の様子



▲当日の様子

令和7年度の取組報告

1 市民活動活性化

団体の企画支援例：

相談に訪れた団体の資源（マネープラン策定支援、自己分析支援）を整理し、社会課題の解決に資する企画の立案・実施支援に取り組んだ

課題：「介護や福祉に関わる人材不足・離職率の高さ」

- 第1回 「若手社会人のマネー&ライフプラン」セミナー
- 第2回 自立支援は自分支援

【伴走団体の声】

- ・若手という新しいターゲットを発見でき、今後活動の展開に非常に役に立つと感じた。
- ・センターのサポートで、普段より参加人数も多く、いい環境で開催できてよかった。

横浜市の介護・福祉関連施設で働く
若手社会人の
マネー&ライフプラン

参加費 300円 (資料代) 16名 (定員)

9/27 土 13:30 - 15:30 (13:30受付開始)

2025年9月20日(土)



「人を支援する前に知ってほしいこと」
自立支援は自分支援
～認知行動療法をベースにした心通トレーニング～

参加費 300円

2025年10月4日(土曜日)14:00～16:00

定員 16名



▲当日の様子

令和7年度の取組報告

市民協働提案事業への伴走支援

相談件数：13件／採択件数：新規2件／継続：4件

新規【よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会】（R8～）

こどもの居場所から始める子ども若者が孤立しない街づくり

新規【NPO法人森ノオト】（R8～）

スポーツ×学生 ローカルエシカルチャレンジ

【表現のチカラ】（R6～）

特殊詐欺の防犯啓発を目的とした防犯演劇

「だまされないプロになろう！」

【Yokohama ' Pride ' Circulation 】（R6～）

消防服等のアップサイクルを通じた地域での防災啓発

【NPO法人アスリード】（R7～）

市内中学校における地域や企業と連携したキャリア教育
（＝自分づくり教育）の推進

【NPO法人Sharing Caring Culture】（R7～）

外国人親子と地域をつなぐ図書館でのアウトリーチ活動



令和7年度の取組報告

1 市民活動活性化

情報蓄積・活用・発信

SNS配信数

X：45回、Instagram：48回、Facebook：48回

SNSフォロワー数

X、Instagram、Facebook：1,635人

(2026年1月末時点)

メルマガ配信数：10回 (2026年1月末時点)

メルマガ登録数：4,079件

メディア掲出回数：11回

開催レポート件数：8件 (2026年1月末時点)

協働事例取材件数：3件 (2026年1月末時点)

企業や学校が連携し、福祉分野の課題解決に取り組む事例等を発掘し、発信した。



訪問レポート | 2025年10月07日

【訪問レポート】「NPO法人街の家族」移転後の新たな“おうち”へ～世代を超えて、地域で育ち合う場をつくる～ (青葉区)



NPO法人 街の家族



(青葉区) 2025.8.28

▲ホームページの公開内容一部

令和7年度の取組報告

1 市民活動活性化

各区市民活動支援センター訪問ヒアリング

- ・実施期間：2025年4月～2026年1月
- ・訪問施設数：18センター（全区）
- ・共通して、人員不足やシフト勤務により地域への外出、団体訪問、横断的な会議参加が難しい状況が確認された。
- ・助成金や講師、広報ノウハウなどの情報提供へのニーズが高い。
- ・登録団体の実態把握や若年層との接点づくりが課題
- ・今後は区域を超えた情報共有、広報・支援ツールの活用を通じ、支援の質と連携力をより高めることが重要ではないか。

市が取り組む体制等についても情報収集しつつ、ニーズの高い情報提供や有効な取り組みを発信し、連携を図っていきます。



▲ヒアリングの様子

令和7年度の取組報告

2 課題解決（課題解決プログラム）

横浜市は「住みたい、住み続けたいまち 横浜」の実現に向け、持続可能なまちづくりに取り組んでいる。今年度のテーマを「安心・安全なまちづくり」とし、その実現に向けて地域主体で取り組めるよう、自分の地域の「安心・安全」について改めて見つめなおし、課題を整理するプログラムづくりに取り組んだ。

【実施内容】

地域の担い手不足や、活動の継続性といった課題にアプローチするため、日常生活に+ONE（プラスワン）するという「気軽な」気持ちで地域に思いを向けてもらうためには、どのようなしかけがあったらよいか？という問いのもと、地域の活動団体や地域活動を支援するコーディネーター等とともにワークショップを実施。その際に意見収集や合意形成の手法を模索し、課題整理と解決につながる活動を生み出すための手法の検討を進めた。



▲ワークショップ、
検討会の様子

令和7年度の取組報告

2 課題解決（課題解決プログラム）

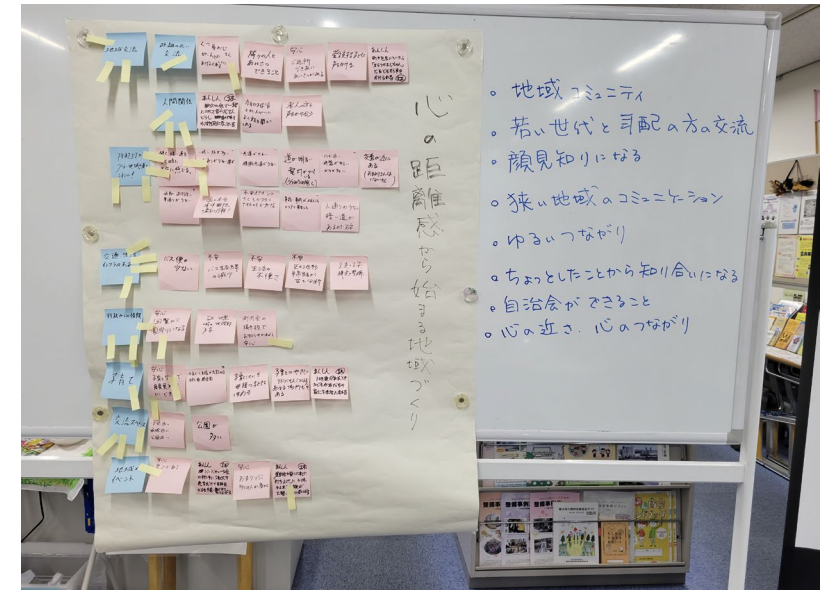
- ・社会課題解決に関心のある市民を、課題解決メンバーズ※として巻き込み、参加型プロジェクトとして、プログラムづくりのための意見交換を実施。

(※) 地域を豊かにする取組のプロセスを学び、自分の地域に持ち帰り、活気を生み出す人

- ・2地区（鶴見区、西区）で市民向けワークショップを試行実施。
- ・まちの安心・安全に関し、約100件の声を集め、地域共通ミッションをつくる「〇〇なまちを目指したい」ワークショッププログラム案を作成した。



▲鶴見区の市民向けワークショップの様子



▲西区の市民向けワークショップの結果

令和7年度の取組報告

2 課題解決（課題解決プログラム）

- ・ 今後、地域におけるコーディネーターの役割をもつ方たちと意見交換を行いながら、各地域の課題やテーマについて市民を巻き込みながら、共通のミッションをつくることで自分事化するワークショッププログラムにしていきたい。
- ・ その際、市民協働推進センターがもつ活動団体との繋がりや連携促進のノウハウを活用し、効果的な事例を生み出せるよう取り組んでいきたい。
- ・ 大学生等若い世代を含む社会課題解決に関心のある層を巻き込んでいきたい。

2 課題解決



つながり
つくり

市大の地域の防犯活動の研究協力



つながり
つくり

地域活動に関心がある大学生



地域の
状況把握

地域の防犯活動への参加

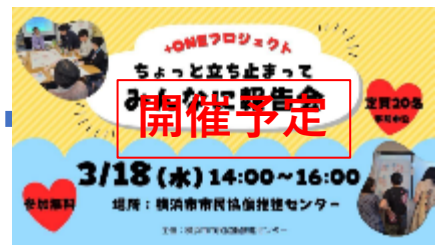
参加型
企画会議

地域団体
と連携

関わりの
広がり

参加型
企画会議

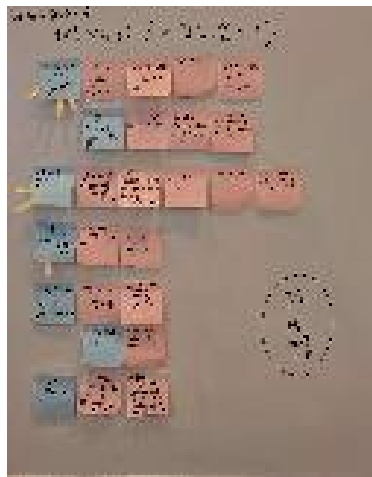
区活センター
連携



参加型
企画会議



美大生からのロゴ提案



令和7年度の取組報告

3 協働誘発

学び・つながる場としての企画・イベントの実施

「社会的な責任を果たすソーシャルビジネスとは」
2025年8月25日（月）15：00～17：00

講師：河村昌美氏（事業構想大学院大学 教授）、
永岡鉄平氏（NPO法人フェアスタートサポート 代表理事/
株式会社フェアスタート 代表）

参加人数：34人

参加者アンケート「協働の理解が深まった」：100%

【参加者の声】

- ・社会課題解決のために必要な考え方やアプローチを、多くの人と共有できる企画に生かしたい。
- ・根本的な解決に向けてしっかりと向き合い、官民連携に向けて動いていきたい。



▲当日の様子

令和7年度の取組報告

3 協働誘発

協働ステップアップセミナー（人材育成）

第1回

テーマ：共通の目的に向けた参加・協働のまちづくり～

「こどもまんなか社会」の視点から、住み続けたいよこはまづくり～」

2025年8月21日（木） 15：00～17：00

講師：三輪律江氏（横浜市立大学 教授）

参加者数：30人

参加者アンケート「協働の理解が深まった」：95.7%

第2回

テーマ：「地域を知る・好きになる」から始まる地域づくりと担い手育成」

2025年9月5日（金） 15：00～17：00

講師：北原まどか氏（認定NPO法人森ノオト 理事長）

参加者数：38人

参加者アンケート「協働の理解が深まった」：100%



▲セミナー当日の様子

【参加者の声】

・子ども目線のまちづくりが、実は多世代にやさしいものであることを再認識した。

・「地域づくり・まちづくりはコストパフォーマンスで測るものではなく、過程そのものがまちづくりになる」という話がとても印象に残った。

令和7年度の取組報告

3 協働誘発

市民協働推進センター×KIITO
社会課題解決手法を学び実践する！1DAYワークショップ

2025年12月19日（金） 10：30～17：00
講師：永田 宏和 氏（デザイン・クリエイティブセンター
神戸（KIITO）センター長）
参加人数：47人
参加者アンケート「協働の理解が深まった」：100%

【参加者からの声】

- ・ゼロからではなく既にあるプログラムを焼き直すこともクリエイティブであると知り、少し肩の荷が下りた。
- ・自分たちがイベントを主催する際には、その後の展開をイメージして企画していきたい。



▲当日の様子

令和7年度の取組報告

3 協働誘発

協働HUB

中間支援・NPO事務局長交流会

参加団体数：24団体

参加人数：31人

参加者アンケート

「交流したり、ネットワークが広がった」：100%

ミズベサロン

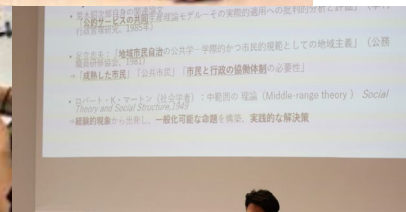
横浜市職員のためのミズベサロン

2025年6月27日（金）15：00～17：00

話題提供者：センター長

参加者数：18人

参加者アンケート「協働の理解が深まった」：100%



▲当日の様子

3 協働誘発

協働コーディネーター強化

協働コーディネーターの定義を改めて整理するにあたって、現状把握のため、各分野のコーディネーターにヒアリングを実施しました。

ヒアリング内容（一部抜粋）

- ・「自分にしかできないことをやっている」ことがモチベーションの一方、前任が退いた後に地域活動を継続させるには、事業展開中から仕組みをつくっていく必要がある。
 - ・一人で（案件を）抱え込みがちになる。
 - ・地域とつながっているステークホルダーとの連携は意識している。地域ケアプラザが学生ボランティアをつないでくれた。
 - ・アウトリーチ活動によってアーティストの活動の場が文化施設から学校や高齢者施設、教育や福祉の現場に広がり、地域での活動へと広がっていった。
-
- ・ヒアリング結果を踏まえ、様々なコーディネーター同士がつながり、悩みや経験を共有できる場を設定していく。
 - ・地域におけるコーディネーターと繋がることにより、市民協働推進センターのコーディネート機能の充実・強化も進めていく。

令和7年度の取組報告

4 協働スペースの有効活用

開館日数：345日/年 340日/年見込み

利用促進：利便性向上のための予約システムの運用開始（2026年1月～）

利用者数：1万6千人（2026年1月末時点）

横浜市市民協働推進センター スペース予約システム

予約 会員メニュー

← ホーム

打合せ(1) [10名まで]

2~10名

営業時間・料金

会員限定

神奈川県横浜市中区本町6-50-10横浜市庁舎1階

〒231-0005 神... 拡大地図を表示

共用利用にて10名までの打合せが可能です
予約期間は以下ですが、18時以降のご利用が含まれる場合は前月10日17:00までに予約してください
ご予約は「1日1回、最長3時間（利用可能時間内）」です

予約に関する注意事項

予約受付開始	6ヶ月前の09:00から
予約受付締切	1日前の17:00まで
利用可能時間	1回の予約につき、30分～3時間

日程選択

時間単位予約

2026年03月

	02/26 木	02/27 金	02/28 土	03/01 日	03/02 月	03/03 火	03/04 水
09:00						○	○
10:00						○	○
11:00						×	○
12:00						○	○
	○	○		○	○	○	○

5 全体を通じて

- NPO等非営利セクター以外の主体の巻き込みを意識したソーシャルビジネスセミナーを実施したことで、企業等との関わりが増えた。今後、繋がりを活かし、新たな課題解決策を生み出し、社会課題に取り組む民間主体のすそ野を広げていきたい。
- 市民向けセミナーを市職員向けの連続研修としても位置付けた。若手職員の参加者が多く、協働への関心が高いため、継続的に市民協働についての研修や市民等との対話の場への参加促進を、市と協力し進めていきたい。
- 来年度も持続可能な協働の発展を目指し、“非営利”の枠を越えて多様な主体の協働をさらに推進していきたい。